

勝山市長尾山 - 里山・湿地 -



選 定 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・県レッドデータブック掲載種（県RDB種）(サクラバハンノキ)の県内の代表的な生育地である ・県RDB種が多種確認されている
---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

県レッドデータブック掲載種数： 10種（面積約140ha）

自然の概要	なだらかな丘陵状の里山で、谷奥の湿地がサクラバハンノキの代表的な生育地になっています。また、大径のアカマツが林立する尾根部には、オオタカやハチクマなどの猛禽類やニホンリスなどが生息しています。
保全すべき主な環境	巨木林（アカマツの大径木林） 湧水湿地（サクラバハンノキの生育する湿地）
もっと詳しく知りたい人へ	福井県のすぐれた自然植物編, p83 [長尾山のサクラバハンノキ群落]

該当地の位置



里の生き物紹介 サクラバハンノキ（カバノキ科）

サクラバハンノキは、湿地に生えるハンノキの一種です。県内で知られている生育地はわずかで、本数も多くありません。土地の造成や道路工事のために、湿地が埋め立てられて、減少しています。

サクラバハンノキはハンノキにとってもよく似ています。ハンノキは、ヤナギと共に、河川や放棄田など湿地によく見られます。サクラバハンノキも同じような場所に生えますが、見つかるのはごくまれです。区別点は、ハンノキより葉の光沢があり、葉脈の数が多いことですが、専門家でないと判別はむずかしいようです。

保全すべき環境に生息・生育している生物



オオタカ
県域絶滅危惧 類
緩やかな地形の森林、菅
藁林は緩斜面にある胸高
直径50cm以上の高木林



サクラバハンノキ
県域絶滅危惧 類
山間部の河川・地沼の周
縁部、廃田、造成地など
の低湿地に生育



ハチクマ
県域絶滅危惧 類
落葉広葉樹林、アカマツ
林、スギ林に生息



サンコウチョウ
県域準絶滅危惧
大径木の社寺林、スギ林、
落葉広葉樹林に生息



ニホンリス
森林に生息し、枝のまた
や樹洞に巣を作る